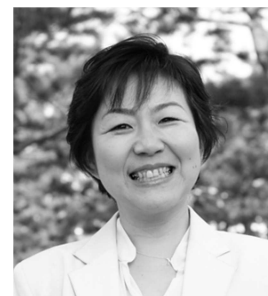


高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告

めぐみ通信

Vol.4.1

2012. 4. 22



～子どもの幸せが広がるまちへ～

平成 24 年第一回定例会（3 月議会）が終わりました。全 28 議案のうち、予算案を含む 3 議案に反対しました。あとは賛成です。また 2 つの請願の紹介議員になりましたが、残念ながら不採択となりました。詳細は以下をお読みください。

水道水を流す？

「せせらぎ」があると市民が歩きたくなる!?

新たに作る「せせらぎ」に 7000万円!?

平成 24 年度予算に、南海中央線（藤井病院東側を南北に通る道路）が北に延伸される道沿いに「せせらぎ」を作る予算が計上されています。

その金額が約 7000 万円！

なぜ「せせらぎ」なのか。

それは、高石市が進める“スマートウェルネスシティ計画”の一環として『「市民が歩きたくなる、歩かされてしまう」まちづくりをする』＝『「せせらぎ」を作ると市民が歩いてしまうまちになる』ということらしいです。

本当に歩きたくなるのでしょうか？

「せせらぎ」には水道水を流すことを考えている、ということです。維持管理にどれだけの費用が必要なのでしょう。

そんなことにお金を使わなくても、高石市には浜寺公園があり、多くの市民が朝に夕に歩

目次

- P.1 「せせらぎ」に 7000 万円!?
- P.2 とても危険な健康クラウド!!
一知らない間に、あなたの健康情報が…!
- P.3 保育所の署名、不採択に…。残念。
- P.4 予算案に反対しました。その理由は

いています。それで充分ではありませんか。

さらに、スマートウェルネスシティ計画によると、同じ南海中央線に「ライジング・ボード」という、自動昇降の車止めを設置するそうです。これは土日にも車を通行止めにして、市民が歩けるようにする、ということです。

でもその区間は藤井病院の南から北に向かって約 200 メートルという短いもので、そんな距離を通行止めにしてウォーキングして健康になれ、と言われても困ってしまいます。

まさに無駄遣い、としか言えません。

そんなお金があるなら、まだ手付かずの公立保育所や幼稚園の耐震二次診断を一刻も早く行うべきだと思います。

健康クラウドで

専門家も「逃げて!」と警告

ゼロプライバシー!?

高石市は、株式会社つくばウェルネスリサーチ、IBM、NTT 東日本などが一緒になって進めている“スマートウェルネスシティ”という計画に参加しています。内閣府より総合特区にも認定され、着々と計画が進んでいるようです。予算にも 1 1 2 6 万円が委託料として計上されていました。

しかし、大きな問題点として「健康クラウド」というものがあります。

健康に関する個人情報、他人には絶対に知られたくないものです。しかし、この「健康クラウド」について、計画書の記述は以下の通りです。

自治体が保有している国民健康保険加入者のデータに加えて、協会けんぽや企業健保等のデータも一元化したデータベースを構築する。さらに、介護保険の情報とも一元化を試みる。それらのデータ分析に必要な個人に関する情報（ライフスタイルや住居の近隣環境等）を特定健診の問診票に加えて恒常的に収集する仕組みも構築する。そして、それらのデータを基に高度なデータマイニング手法を駆使して、現在、及び、将来、さらに施策効果のシミュレーションを行う健幸度解析知能化エンジンを開発する。（官邸のホームページより抜粋）

いかがですか。

情報は匿名化する、と言ってはいますが、施策効果を挙げようと思うと、ある程度の個人情報の連携化が必要なはずで

議会での市の説明は

「健康教室参加者にはデータ送信について承諾を取り、(株)つくばウェルネスリサーチに提供する」というものでした。

しかし、調べてみると、市民全員の健康に関するデータが「クラウド」という名の下に収集される危険性があるのです。

内閣府のホームページにある「申請書」によると

「現状を評価し、効果的な施策を立案するためにも、住民全体の健康状態を把握する必要がある。～中略～そのため、大多数の住民が加入する企業健保や協会けんぽ等からの情報が必要不可欠～中略～そこで、地域住民全体の健康に関するデータを集約可能とする仕組みを構築する。」

この“仕組み”が「健康クラウド」です。

ネット上では、情報セキュリティの専門家が「逃げて！ゼロプライバシー特区！」と警告しています。日本医師会も情報通信技術戦略については「国家によるプライバシー侵害への不安や国民管理に関する懸念」を表明しています。

市民の知らないところで、市民のプライバシーが集められ利用されようとしています。

健康クラウドについては、導入を決定する前に市民に対して説明し、参加の可否を問う姿勢が必要ではないでしょうか。皆様はどう思われますか。

耐震化を求める請願・民営化の凍結を求める請願が不採択に！

以下に耐震化を求める請願の書面をそのまま記載します。

公立保育所・幼稚園の早急な耐震化に関する請願

趣旨

早急に公立保育所・幼稚園の耐震化を進めてください。また、一刻も早く子どもの安全を確保してください。

理由

私たちは、この高石市ですべての子どもたちが健やかに育ち、保護者が安心して子育てできることを願っています。しかし、高石市の公立保育所・幼稚園の耐震状況は「震度6強の地震で倒壊または崩壊する危険性がある」とされる構造耐震指標 I_s 値 0.6 を下回る危険な状態です。(加茂保育所 0.21、羽衣保育所 0.41、加茂幼稚園 0.31、0.52、北幼稚園 0.4、羽衣幼稚園 0.51)。特に加茂保育所は「震度6強の地震で倒壊・崩壊する危険性が高い」とされる 0.3 未満の耐震指標さえも下回っています。大切な子どもの命を守るためにも、安全基準を満たしていない建物の早急な耐震化を実施してください。また、耐震化を進めるまでの間にも、一刻も早く子どもの安全を確保してください。

平成 24 年 2 月 13 日

この請願には子どもの命を大切にしてほしい、という保護者の思いがあります。また、この趣旨に賛同された 2768 名もの方が署名されています。子どもが過ごす施設を耐震化してほしい、というのは当たり前の願いです。

また、今議会にはもう一つ「加茂保育所の民営化の凍結に関する請願」も出されています。

た。こちらにも、あまりにも急な民営化に納得できない保護者の方々が中心となり、署名を集められ提出されたものです。

この2つの請願に賛成したのは、私たちクリア高石2名と共産党の2名のみでしたので、本当に残念なことです。請願は不採択となってしまいました。

副市長2人が決定！

3月議会終了後の3月27日に臨時議会が開かれました。そこで、副市長二人の人事が諮られ、私たちクリア高石2名と共産党2名は反対しましたが、他の議員は全員賛成で可決されました。

国土交通省から一人。大阪府から一人。この二人が新しくこの4月から高石市の副市長になります。人口6万人弱の小さな高石市に、二人も必要だとは思えません。

そろって高石市には初めて赴任する方。市が直面している数々の課題の経過や進捗状況も、一から説明を受けなくてはなりません。

さらに国から来る副市長は単身赴任ということで、家賃は月額12万円だと担当者からの答弁がありました。(うち幾らかは本人負担ということです。)

お金がない、と言ってゴミの有料化までが検討されるなど市民に様々なしわ寄せが来ている中で、副市長が二人になることには賛成できませんでした。

平成 24 年度の予算案に反対しました！

以下の表の通り、平成 23 年度に比べ、普通建設事業費が倍以上にふくらんでいます。

1 ページに書いた「せせらぎ」や、まだ条例上も実際にも存続している加茂保育所の、保護者の理解を得られないままでの移転民営化、そして、突然提案された総工費 10 億円以上とも言われる鴨公園への防災体育館建設設計などの予算もここに含まれます。他には市民のプライバシーが守られない心配のあるスマートウェルネスシティについての様々な予算

やゴミの有料化に向けた検討の予算も含まれます。しかし、3 ページの請願にもあった、公立の保育所や幼稚園の耐震化については殆ど予算化されていません。また、障害者への扶助費や文化会館への補助費などが大幅に減額されています。

このように、市民への説明不足で理解が得られていない予算の組み方を承認することは出来ませんでした。

| 単位：千円 | | 平成 24 年度 | | 平成 23 年度 | | | H24 年度 | H23 年度 |
|-------|---------|------------|--------|------------|--------|----------------------------|--------|--------|
| 歳入 | 一般会計予算 | 22,229,320 | | 20,829,790 | | 月収30万円の家計に例えると… (単位：千円) | 300.0 | 300.0 |
| | | | 割合 | | 割合 | | | |
| 歳出 | 人件費 | 3,901,583 | 17.6% | 4,070,993 | 19.5% | 食費 | 52.7 | 58.6 |
| | 物件費 | 2,925,740 | 13.2% | 2,887,557 | 13.9% | 高熱水費 | 39.5 | 41.6 |
| | 維持補修費 | 16,096 | 0.1% | 18,488 | 0.1% | 車の修理費 | 0.2 | 0.3 |
| | 扶助費 | 5,228,649 | 23.5% | 5,246,235 | 25.2% | 医療費や学費 | 70.6 | 75.6 |
| | 補助費 | 1,493,870 | 6.7% | 1,606,330 | 7.7% | 親戚への援助 | 20.2 | 23.1 |
| | 普通建設事業費 | 2,722,998 | 12.2% | 1,122,829 | 5.4% | 自宅の増改築や補修 | 36.7 | 16.2 |
| | 公債費 | 2,922,573 | 13.1% | 2,831,786 | 13.6% | 借金の返済 | 39.4 | 40.8 |
| | 貸付金 | 45,100 | 0.2% | 66,600 | 0.3% | 親戚への貸付 | 0.6 | 1.0 |
| | 繰り出し金 | 2,921,539 | 13.1% | 2,928,021 | 14.1% | 子どもへの仕送り | 39.4 | 42.2 |
| | 積立金 | 31,172 | 0.1% | 30,951 | 0.1% | 貯金 | 0.4 | 0.4 |
| | 予備費 | 20,000 | 0.1% | 20,000 | 0.1% | その他 | 0.3 | 0.3 |
| | 計 | 22,229,320 | 100.0% | 20,829,790 | 100.0% | | 300.0 | 300.0 |

編集後記

議員になって、間もなく1年です。
また新たな気持ちで、次の1年も頑張りたいと思います。

折々に WEB サイトにて議会の報告などをしていきますので、ご覧頂けたら幸いです。

発行：山敷 めぐみ
高石市羽衣 5-1-43-204
072-264-8556

yam4-meg3@ezweb.ne.jp
megumi_y@fb3.so-net.ne.jp
<http://yamashikimegumi.com/>

